brother

1章 ご使用の前の組立と接続

2章 ご使用の前の設定と登録

MFC 4350J

ご使用の前にこの取扱説明書（セットアップ編）と別冊の取扱説明書（操作編）をよくお読みになり、製品を正しくお使いください。

本書をなくさないように注意し、いつでも手に取って見ることができるようにしてください。

0120-143410

この商品の取り扱い・操作についてご不明な点がございましたら、上記フリーダイヤルにお気軽にお申し付けください。

受付時間　午前10:00～11:45
午後1:00～5:00
営業日　月曜日～金曜日

（土日・祝日および当社休日は休みとさせていただきます）

取扱説明書

セットアップ編

安全にお使いいただくために必ずお守りください

このたびはMFC 4350Jをお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。
メ モ	この表示は、本商品を取り扱う上で知っておくと便利な内容を示しています。

●本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、フリーダイヤル0120-143410へお申し付けください。

●本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、受信文書の全部または一部が消失したり、通話や録音などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●このファクスの設置に伴う回線工事には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対にお止めください。

※取扱説明書等、付属品を紛失した場合は、お買い上げの販売店へ申し出ていただければ購入できます。

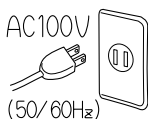
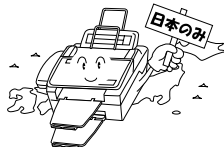
安全にお使いいただくために

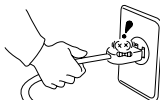
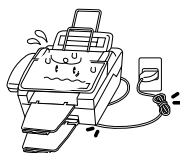
本機をいつも快適な状態で安全にお使いいただけるよう、次の点にご注意ください。
「警告・注意事項」をよくお読みいただき、お守りください。

●電源について

火災や感電、やけどの原因となります。

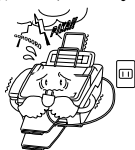
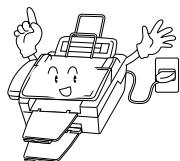
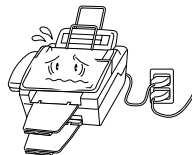
⚠警告

電源はAC100V、50Hzまたは60Hzでご使用ください。

国内のみでご使用ください。海外ではご使用になれません。

ぬれた手で電源コードを抜き差ししないでください。

電源コードを抜くときは、コードを引っぱらずにプラグの本体（金属でない部分）を持って抜いてください。

電源コードの上に重い物をのせたり、引っぱったり、たばねたりしないでください。

タコ足配線はしないでください。

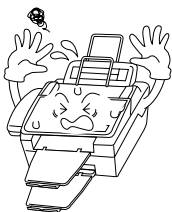
⚠注意

雷がはげしいときは、電源コードをコンセントから抜いてください。
また、ラインコードを本機から抜いてください。

お願い

電源コードはコンセントに確実に差し込んでください。

電源コンセントの共用にはご注意ください。
複写機などと同じ電源はさけてください。

●このような場所に置かないで

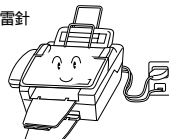
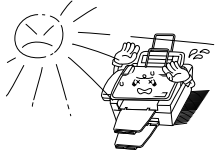
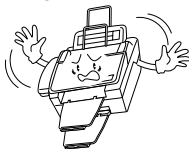
以下の場所には設置しないでください。故障や変形、火災の原因となります。

⚠警告

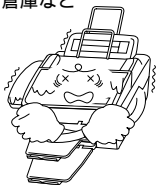
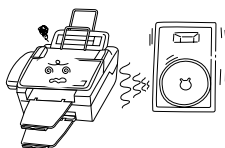
湿度の高い場所
ふろ場や加湿器のそばなど

アース線を取り付けてください。
万一漏電した場合の感電防止や外部から電圧（雷など）がかかったとき本機を守るため、できるだけアース線を取り付けてください。取り付けかたについては、9ページの「ファクシミリを接続する」を参照してください。

○取り付けられるところ
- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの
- 設置工事（第3種）が行われている設置端子

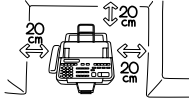
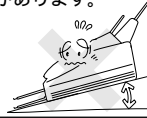
○絶対に取り付けてはいけないところ
- ガス管
- 電話専用アース線
- 避雷針

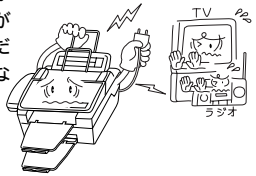
⚠注意

温度の高い場所
直射日光の当たるところ、暖房設備のそばなど

不安定な場所
ぐらついた台の上や傾いたところなど

油飛びや湯気の当たる場所
調理台のそばなど

お願い

いちじるしく低温な場所
製氷倉庫など

磁気の発生する場所
テレビ、ラジオ、スピーカー、こたつなど

高温、多湿、低温の場所
本機をお使いいただける環境の範囲は次のとおりです。

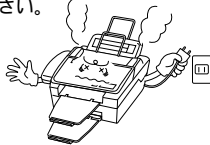
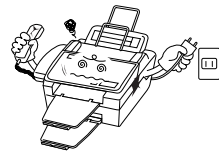
温度：10～32.5℃
湿度：20～80%
（結露なし）

壁のそば
このファクシミリを正しく使用し性能を維持するために設置スペースを確保してください。

傾いたところ
水平な机、台の上に設置してください。傾いたところに置くと正常に動作しない場合があります。

- **急激に温度が変化する場所**
- **風が直接あたる場所（クーラー、換気口など）**
- **ホコリ、鉄粉や振動の多い場所**
- **換気の悪い場所**
- **揮発性可燃物やカーテンに近い場所**

電波障害時の対処
近くに置いたラジオへ雑音が入ったりテレビ画面にちらつきやゆがみが発生したり、コードレス電話の子機で通話できなくなる場合があります。その場合は電源コードをコンセントから一度抜いてください。電源コードを抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試みてください。
・本体をテレビから遠ざける。
・本体またはテレビ等の向きを変える。
・本体をコードレス電話の親機から遠ざける。

●もしもこんなときには

そのまま使用すると火災、感電の原因となります。必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

⚠警告

煙が出たり、へんなにおいがしたとき
すぐに電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。
お客様による修理は危険ですから絶対にお止めください。

本機を落としたり、キャビネットを破損したとき
電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

内部に水が入ったとき
電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

内部に異物が入ったとき
電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

●その他のご注意

故障や火災、感電の原因となります。

⚠警告

分解しないでください。
法律で罰せられることがあります。

改造しないでください。
修理などは販売店にご相談ください。法律で罰せられることがあります。

本機の上に水、薬品などを置かないでください。

⚠注意

長期不在するときは電源コードをコンセントから抜いてください。

火気を近づけないでください。
故障や火災・感電の原因となります。

アース線について
万一漏電した場合の感電防止や外部から雷などの電圧がかかったときに本機を守るため、アース線を取り付けてください。
アース線は付属しておりませんので、市販のものをご購入ください。

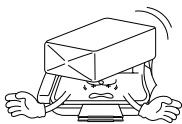
本体うら
アース線

お願い

落下、衝撃を与えないでください。

動作中に電源コードを抜いたり、開閉部を開けたりしないでください。

梱包されている部品は必ず取り付けてください。

このファクシミリの上に重い物を置かないでください。

室内温度を急激に変えないでください。
装置内部が結露するおそれがあります。

指定以外の部品は使用しないでください。

原稿および記録紙排出の妨げになりますので、本体前方には物を置かないでください。

海外通信をご利用になるとき
回線の状況により正常な通信ができない場合があります。

NTTの支店・営業所から遠距離の場合には、お使いになれないことがありますので、最寄りのNTTの支店、営業所へご相談ください。（116番）

本機に貼られているラベル類ははがさなでください。

●停電がおきたときは

お願い

停電時にはデータの種類によって消去されるデータがあります。

消去されないデータ
- ・ワンタッチダイヤル
- ・短縮ダイヤル
- ・グループダイヤル
- ・各種登録・設定の内容

消去されるデータ
◎数時間以上たつと消去される
- ・通信管理レポート
- ・受信メモリ文書

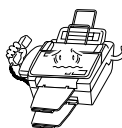
◎停電後すぐ消去される
- ・送信メモリ文書

停電復旧時について
半日以上停電が続いた場合は、日付がリセットされます。

「'99　01／01　00：00」

再設定をしてください。
（37ページ参照）

メ　モ

停電中は電話をかけることができません。
外付電話機は機器によって使用できます（外付電話機の取扱説明書をご覧ください）。コピーもファクシミリも使用できません。

●記録紙について

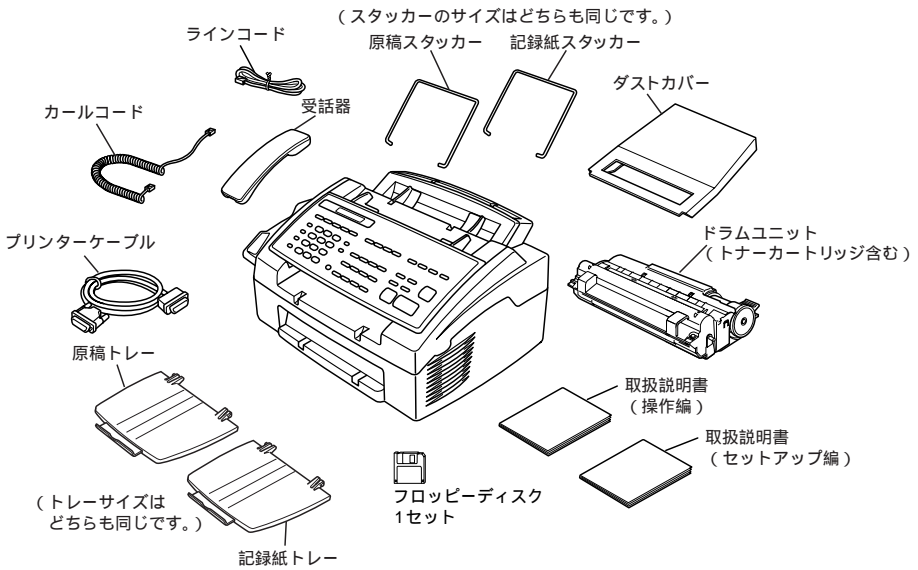
お願い

使用する記録紙にはご注意ください。
しわ、折れのある紙、湿っている紙などは使用しないでください。

保管は直射日光、高温、高湿を避けてください。

目次

商品を確認する

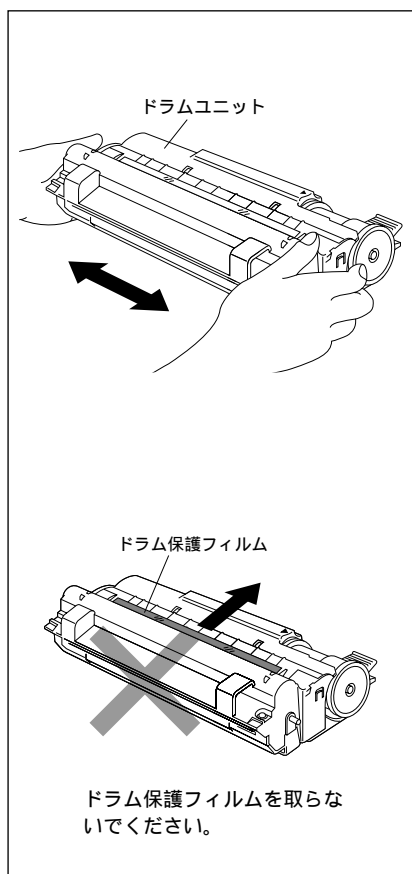
次の物が揃っているか確かめてください。足りない物があったり、取扱説明書<セットアップ編、操作編>に落丁があったときは、**フリーダイヤル0120-143410**にご連絡ください。

保証書	1部
アンケートシート	1枚
A4記録紙	1セット

お願い

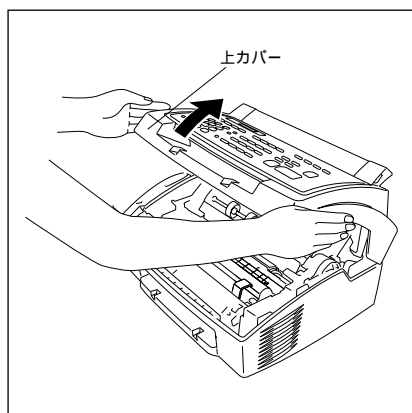
- ●この製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、フリーダイヤル0120-143410までご連絡ください。
- ●お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- ●この製品は使用誤りや静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき、また故障・修理のときは記憶内容が変化・消失する場合があります。

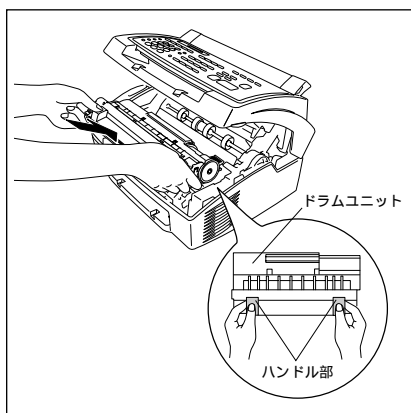
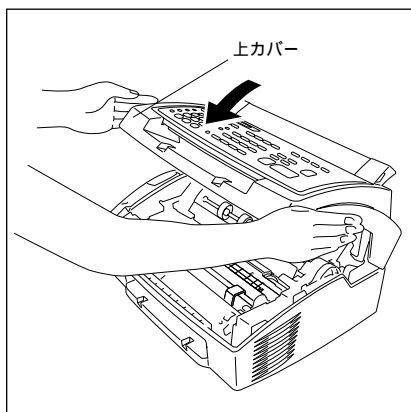
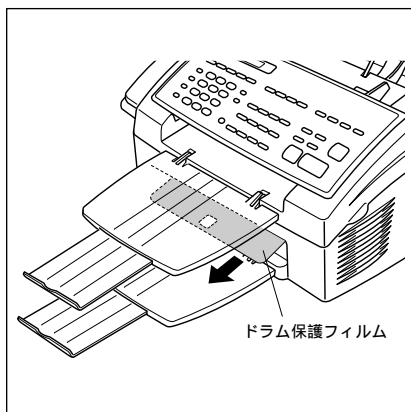
1章

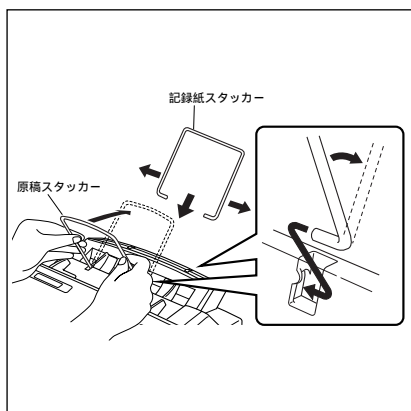
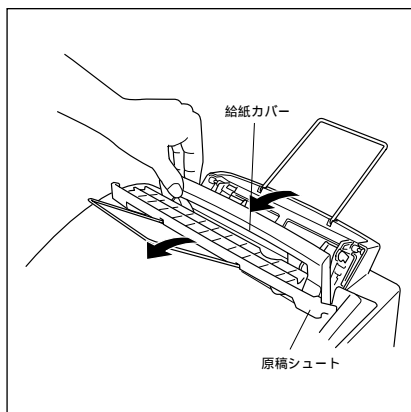
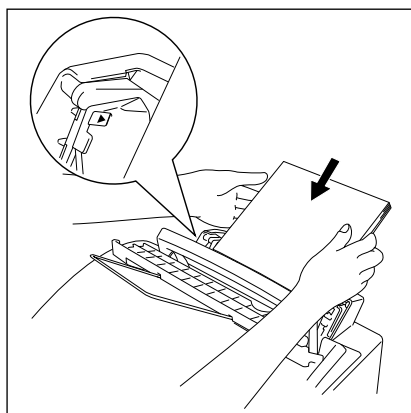
ご使用の前の組立と接続

ドラムユニット(トナーカートリッジ含む)を取り付ける

1 ドラムユニットを遮光袋から取り出します。ドラムユニットを水平に持ち、5～6回左右に振ってください。

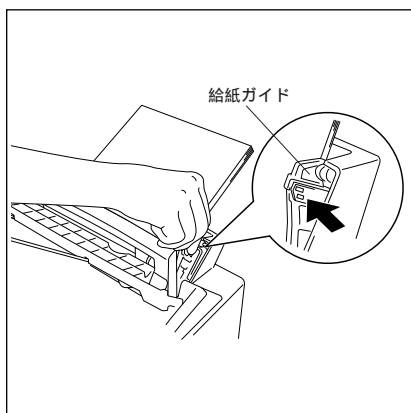
お願い

- 直射日光のあたるところに、ドラムユニットを放置しないでください。
- ドラム保護フィルムを取らないでください。この用紙はドラムユニットを取り付けた後、電源コードのプラグを電源コンセントに差し込むと自動的に排出されます。

2 上カバーを開けます。
しっかり固定するところまで持ち上げます。

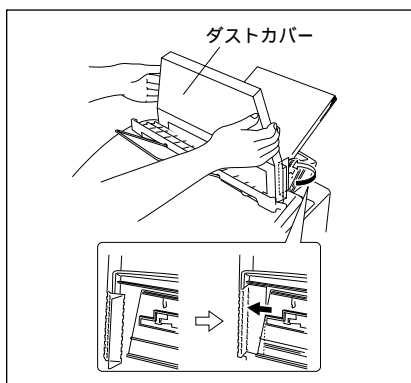
ドラムユニット(トナーカートリッジ含む)を取り付けるつづき

3 ドラムユニットのハンドル部を持ち、本体に取り付けます。

4 上カバーを閉じます。(トナーカートリッジの交換については、取扱説明書<操作編>の132ページを参照してください)

5 新しいドラムユニットを取り付けた後、はじめて電源を入れるときは、ドラム保護フィルムがきちんと排出されたか、確認してください。

記録紙をセットする

1 原稿スタッカーと記録紙スタッカーを図のように取り付けます。

2 原稿シュートを開け、マルチパーパスシートフィーダーの給紙カバーを開きます。

3 記録紙の端をきれいに揃えてから、プリントする面を下にして図のように、記録紙をセットします。

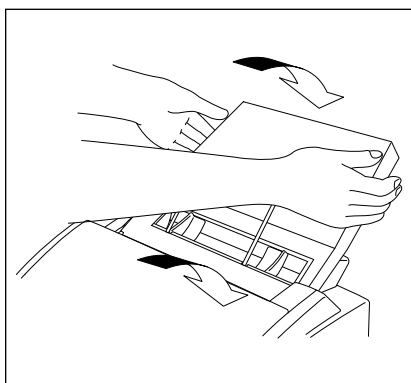
メモ

マルチパーパスシートフィーダーには、普通紙が約200枚まで、封筒は10枚までセットすることができます。それ以上の記録紙や封筒をセットすると、記録紙づまりの原因となります。マルチパーパスシートフィーダー側面にある給紙ガイドマーク(▼)を超えないようにしてください。

4 記録紙の幅に給紙ガイドを合わせます。給紙ガイドは図の矢印で示した部分をつまみながら動かします。

メモ

給紙ガイドをきちんと合わせてください。合わせないと、記録紙が傾いて入り、記録紙づまりの原因となります。

5 ダストカバーを給紙カバーに取り付けます。

お願い

ドラムユニットに埃などが入ると故障の原因となりますので、ダストカバーは必ず取り付けてご使用ください。

6 給紙カバーを閉じ、原稿シュートも元に戻します。

使用可能な記録紙

本機では下記のサイズの記録紙が使用できますが、受信したファクスはA４サイズでのみプリントできます。

種　類	サイズ
普通紙	A４、レター、リーガル、B５、A５、バイブルサイズのシステム手帳用紙、カスタムサイズ（70～216mm×127～356mm）
封　筒	洋形4号、洋形定型最大
はがき	100x148mm
ラベル・OHP用紙	70～216mm×127～356mm

	普通紙	封　筒
坪　量	64～158g/m^2	75～90g/m^2
厚　さ	0.08～0.2mm	0.084～0.14mm（紙1枚分の厚さ）
水分含有量	重量の4%～6%	（同　左）

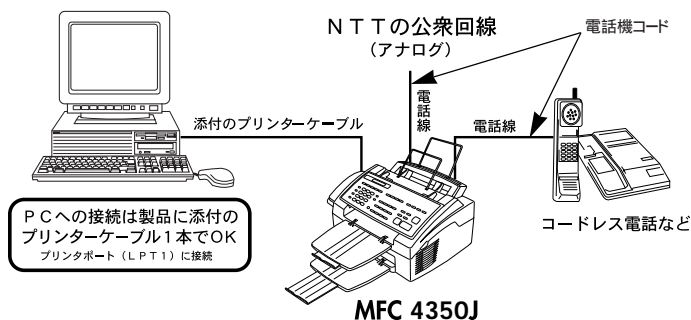
セットできる記録紙枚数

マルチパーパスシートフィーダー：高さ22mm（給紙ガイドの▼マークまで)
A4(75g/m^2紙にて)約200枚
A4(158g/m^2紙にて)約50枚
封筒10枚
官製はがき約30枚
ＯＨＰ用紙約50枚

推薦紙

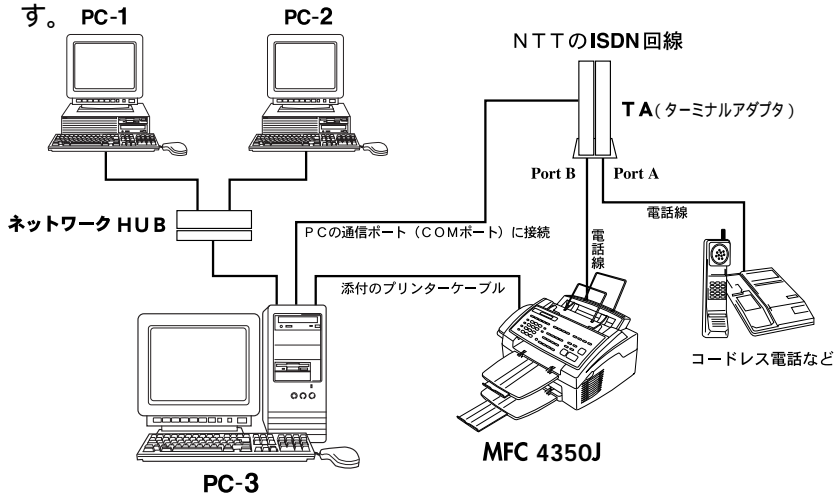
普通紙：三菱製紙スピードダイヤ
封筒：Life E506/B、Life E505/B
ルーズリーフ・システム手帳用紙:ENXS社製
ラベル：エーワンレーザーラベル28352
OHP用紙：住友3M CG3300

MFC 4350J ご利用イメージ①

■公衆回線の場合

◆外部電話を接続した場合
両方の端末が発信しますが、電話でファクスを受けてしまった場合は、電話からファクスへ転送できます。
例）初期設定の変更：リモート起動をONにする。（機能＋2、4）
・電話で受信した場合は、＃51を押し、5秒後に受話器を置く。

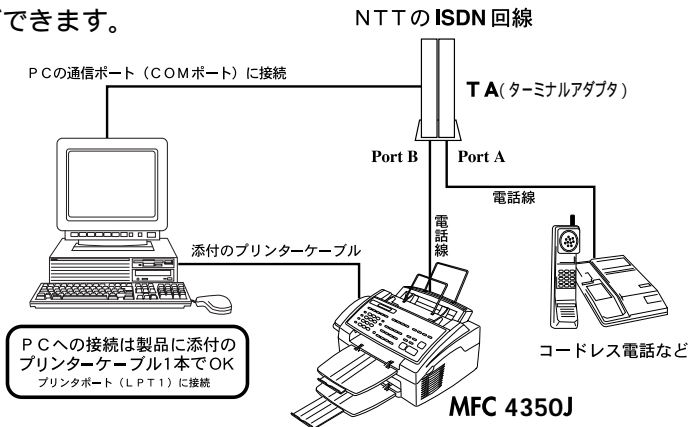
MFC 4350J ご利用イメージ②

■プリンター共有する場合

ネットワークを利用してプリンター機能を共有することができます。

◆プリンター共有（Port Moitor）について
PC-1及び2から、MFC 4350Jが接続されているPC-3を経由して、プリントアウトすることができます。PC-3にて共有設定を行ってください。（スキャナー／PCファクス機能は共有できません。）

MFC 4350J ご利用イメージ③

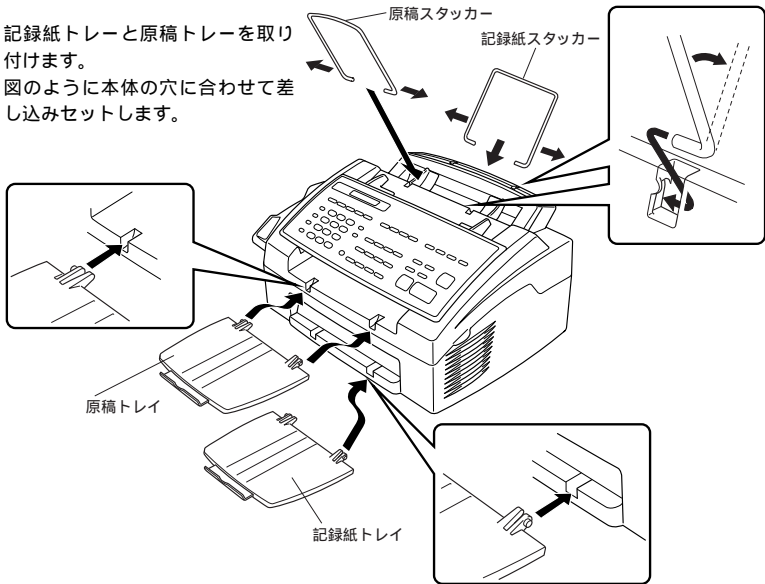
■ISDN回線の場合

2回線分の使用が可能ですから、ファクス送受信中でも、電話で通話ができます。

◆電話番号1つの場合
・Port A/B両方の端末が着信ベルを鳴らしますが、電話でファクスを受けてしまった場合は、Port AからBへ転送できます。（例：フック＋＃＋＊＋2［NECのTAの場合］）
◆電話番号2つの場合（ダイヤルインサービス使用時；TAグローバル着信設定時）
・TAの各アナログポートの着信電話番号を自己アドレスとして登録し、鳴り分けすることができます。

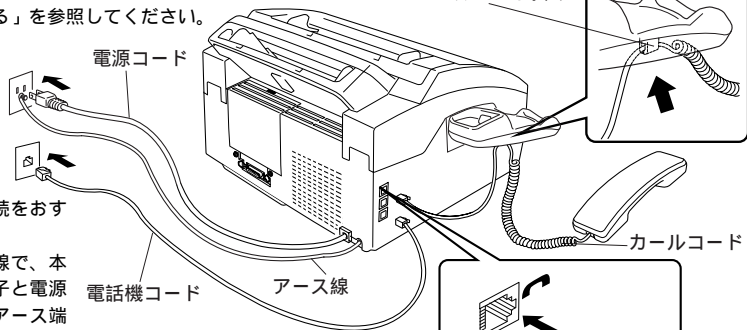
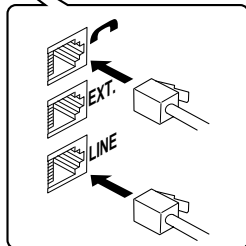
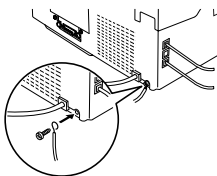
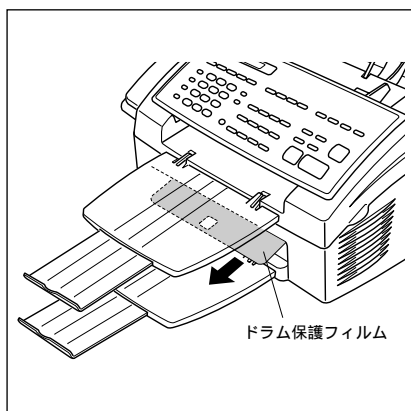
本機をISDN回線のTAに接続する場合、次のことを確認して下さい。
FAX本機側：回線種別を「PB」に設定して下さい。
お買い上げ時の設定は、「PB」になっています。
TA側：本機を接続して電話がかけられること、また電話が受けられることを確認して下さい。
万一、本機が使えないときは操作編151、152ページをご覧の上、TAの設定を確認して下さい。
TAの設定について詳しくは、TAの取扱説明書をご覧いただくか、製造メーカーにお問い合わせ下さい。

ファクシミリを接続する

1 記録紙トレーと原稿トレーを取り付けます。
図のように本体の穴に合わせて差し込みセットします。

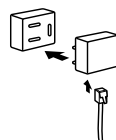
2 受話器を取り付けます。付属のカールコードを、本体の受話器接続端子と受話器の接続端子に「カチッ」と音がするまで差し込み、受話器を受話器受けに置きます。カールコード掛けにカールコードを掛けます。

5 電源コードを電源コンセント(AC100V)に差し込みます。電源を入れると「ピピピ」と警告音がなり、本機が自動的に回線種別設定を行います。32ページ「お使いの電話回線に合わせる」を参照してください。

カールコード掛け
電源コード
カールコード
アース線
電話機コード
EXT.
LINE

4 アース線の接続をおすすめします。
市販のアース線で、本体のアース端子と電源コンセントのアース端子を接続します。

3 電話回線を接続します。
付属の電話機コードを本体の回線接続(LINE)端子と電話機コンセントに「カチッ」と音がするまで差し込みます。

ファクシミリを接続するつづき

新しいドラムユニットを取り付けた後、はじめて電源を入れるときは、ドラム保護フィルムがきちんと排出されたか、確認してください。

メモ 電話機コンセントのタイプについて

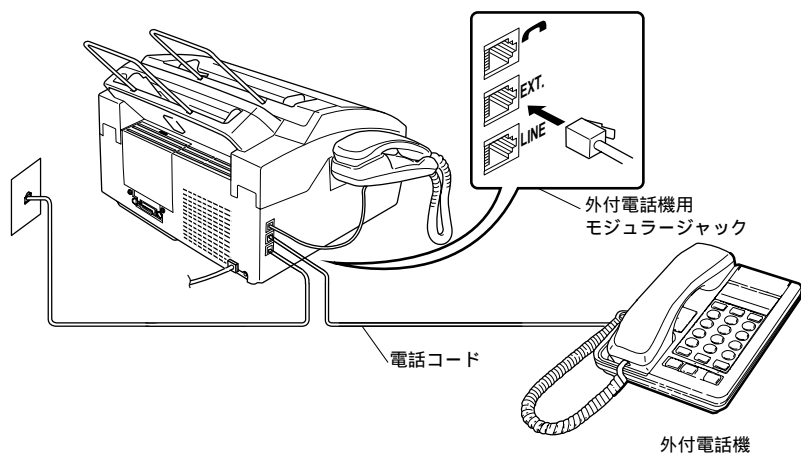
●直接配線の場合（ローゼット／プレート）
最寄りのNTT窓口にご相談ください。
（局番なしの116番）

●３ピンプラグ式コンセントの場合
市販のモジュラー付の電話キャップをお買い求めください。

お願い 置き場所について

●磁気を帯びている場所には設置しないでください（ラジオ、テレビ、こたつなど)。雑音や受信障害の原因となります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

外付電話機の接続をする

外付電話機のラインコードを本体の外付電話(EXT.)端子に接続します。外付電話機は1台まで接続できます。

お願い

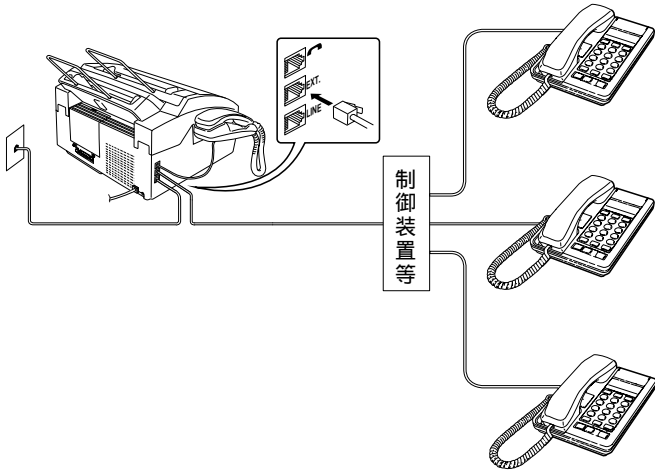
お使いの電話回線に、すでに何台かの電話機が接続されている場合(親子電話・ホームテレホン・ビジネスホンなど)は、本機あるいは外付電話機がご使用になれない場合があります。この場合配線工事が必要で、工事には「電話工事担任者」の資格が必要となりますので、親子電話・ホームテレホン・ビジネスホンの取付工事を行った販売店か、最寄りのNTT窓口(116番)にご相談ください。

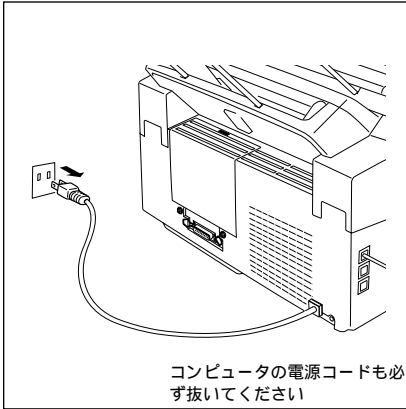
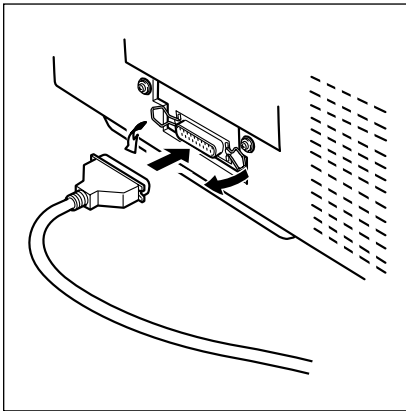
メ　モ

- ●受信モードが通常モードのとき外付電話機で電話に出たい場合は、着信ベル回数を3〜6回ぐらいに設定してください。電話の場合、本機が着信して応答メッセージが流れた後、呼出ベルが鳴りますが、外付電話機の呼出ベルは鳴りません。
- ●ナンバーディスプレイ対応の電話機を外付電話機として接続する場合は着信ベル回数を長めに設定してください。また電話を受けるときは外付電話機が鳴り出してから電話に出てください。

内線電話として接続する

構内交換機またはビジネスホンを使用しているところに本機を内線接続する場合、構内交換機またはビジネスホン主装置の設定を2芯用に変更してください。
設定変更を行いませんと、本機をお使いいただくことはできません。詳しくは、取付工事を行った販売店にご相談ください。

参 考 親子電話、ホームテレホン、ビジネスホンの接続の例

コンピュータと接続する

本機とコンピュータを接続するときは、必ず付属のプリンターケーブルを使用してください。
(USBポートには対応していません。)

1 プリンターケーブルを接続する前に、本機とコンピュータの両方の電源コードを抜いてください。

2 プリンターケーブルのコネクタを本機のパラレルインターフェイスポートに差し込みます(①)。ポートの両側に付いているワイヤクリップを起こし、ケーブルを固定します(②)。

3 ケーブルのもう一方のコネクタをコンピュータのプリンターポートに差し込みます。

お願い 電源を入れるときには、まず本機の電源を入れてからコンピュータの電源をONにしてください。

2章

ご使用の前の設定と登録

文字入力をする

ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル・グループダイヤル・電話帳の相手先名称の登録や、発信元データの登録などで文字を入力するときに利用します。

＜文字配列＞

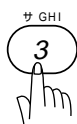
ダイヤルボタンの数字ボタンには、下記の表のように押す回数に応じてカタカナ、アルファベット、数字が割りふられています。また、[＊]、[＃]ボタンには各種の記号などが割りふられています。

押す回数 ダイヤルボタン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
①	ア	イ	ウ	エ	オ	A	B	C	1							
②	カ	キ	ク	ケ	コ	D	E	F	2							
③	サ	シ	ス	セ	ソ	G	H	I	3							
④	タ	チ	ツ	テ	ト	J	K	L	4							
⑤	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	M	N	O	5							
⑥	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	P	Q	R	6							
⑦	マ	ミ	ム	メ	モ	S	T	U	7							
⑧	ヤ	ユ	ヨ	ワ	ヲ	ン	V	W	X	8						
⑨	ラ	リ	ル	レ	ロ	Y	Z	9								
⓪	゛	゜	ー	ッ	ャ	ュ	ョ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	0			
＊	スペース	!	”	#	$	%	&	’	(	)	＊	+	,	−	.	/
＃	:	;	<	=	>	?	@	[	]	^	_					

＜基本的な文字入力のしかた＞

発信元データの発信元名称などの登録を行うときは、次のような手順で入力します。
例えば発信元データの「ナマエ」の項目に「スズキ　ケイコ」という名前を入力するときは、前ページの「文字配列」を見ながら以下の手順で入力します。

機能ボタンを押して、ダイヤルボタン1を押し、続けて3を押します。ファクス番号・電話番号を入力しセットボタンを押すと下記のようなディスプレイ表示となりますので、名前を入力します。

1 ダイヤルボタン3を3回押して「ス」を入力します。

ﾅﾏｴ：ｽ

2 同じダイヤルボタンを使って入力したいときは→ボタンを押して、カーソルを右に移動します。

ﾅﾏｴ：ｽ_

3 ダイヤルボタン3を3回押して「ス」を入力します。

ﾅﾏｴ：ｽｽ

4 ダイヤルボタン0を1回押して「ﾞ　」を入力します。

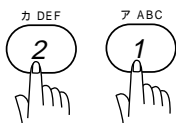
ｷｺﾞｳ　ﾞﾟｰｯｬｭｮｱｨｩｪ

5 ダイヤルボタン[2]を2回押して「キ」を入力します。

ﾅﾏｴ:ｽｽﾞｷ

6 ダイヤルボタン[＊]を1回押して空白をあけます。

ﾅﾏｴ:ｽｽﾞｷ_

7 ダイヤルボタン[2]を4回押して「ケ」、[1]を2回押して「イ」、[2]を5回押して「コ」を入力します。

ﾅﾏｴ:ｽｽﾞｷ ｹｲｺ

8 [セット]ボタンを押します。

9 [停 止]ボタンを押します。

登録が終了します。

メ モ

- 文字と文字の間に空白をあけるときは、ダイヤルボタン[＊]を1回押すか、[→]ボタンを2回押します。
- 同じダイヤルボタンを使って入力する文字が続くときは、[→]ボタンを押してカーソルを移動させて、文字を入力します。移動させないと文字が上書きされてしまいます。

＜間違えた文字を入力したときの修正方法＞

- [←]／[→]ボタンを押して、修正する文字までカーソルを移動し、正しい文字を入力し直します。または、消したい文字の所までカーソルを移動させ[クリア]ボタンを押すと、その文字より後の文字は全部消去されます。
- 途中の文字を入力し忘れたときは、文字を挿入できませんので挿入する箇所までカーソルを移動し、正しい文字を上書きしてください。

登録・設定をする（1）

本機は、ディスプレイ表示のメッセージに従ってダイヤルボタンや［←］／［→］ボタンで簡単に各種の設定・操作ができます。

＜基本的な機能設定の手順＞

1　［機 能］ボタンを押します。

2　ダイヤルボタンを押して、機能レベル１の項目を選びます。

3　ダイヤルボタンを押して、機能レベル2の項目を選びます。

●レベル1に戻るときは、［クリア］ボタンを押します。

4　［←］／［→］ボタンを押して、設定項目を選びます。またはダイヤルボタンで設定内容を入力します。

5　［セット］ボタンを押して、機能設定を決定します。

6　［停 止］ボタンを押して、機能設定を終了します。

メ　モ　●機能設定を途中で終了するときは［停 止］ボタンを押してください。

<登録・設定の方法>

各機能モードを選択する方法にはダイヤルボタンで直接機能を選択する方法と[←]／[→]ボタンで順次項目を表示させてから選択する2とおりがあります。

[例] 機能レベル1のダイヤル登録を選択する場合

ダイヤルボタンで入力する場合

1 [機 能]ボタンを押します。

1.ｼｮｷ ﾄｳﾛｸ

2 ダイヤルボタン[6]を押します。

6.ﾀﾞｲﾔﾙ ﾄｳﾛｸ

※ディスプレイは2秒たつとどんどん表示が変わりますが、かまわずに自分の行いたい設定の番号を押してください。

[←]／[→]で入力する場合

1 [機 能]ボタンを押します。

1.ｼｮｷ ﾄｳﾛｸ

2 [→]ボタンを5回押します。

2.ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ

3.ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ

4.ﾂｳｼﾝ ﾏﾁ ｶｸﾆﾝ

5.ﾜﾘｺﾐ

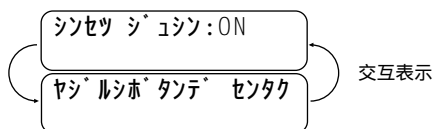
6.ﾀﾞｲﾔﾙ ﾄｳﾛｸ

3 [セット]ボタンを押します。

1.ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾞｲﾔﾙ

※[←]／[→]ボタンを押さずにディスプレイ表示が自動的に変わっているときにセットボタンを押して設定することもできます。

ディスプレイの交互表示について

ディスプレイ表示が交互に切り換わっているときは、現在設定されている機能と次の手順へ進む方法についての短いメッセージを約2秒間隔で交互に表示しています。下の例では、現在親切受信設定が「ON」に設定されていることと、設定を変更するためには← ／→ボタンを押すというメッセージが表示されています。次の手順がディスプレイに表示されていますので、それに沿って簡単に設定・登録をすることができます。

※本書では上のような表記で交互表示を表しています。

登録・設定をする（2）

19ページ手順②の操作 機能レベル1	19ページ手順③の操作 機能レベル2	
①初期登録 1.ｼｮｷ ﾄｳﾛｸ	①回線種別設定 1.ｶｲｾﾝｼｭﾍﾞﾂ ｾｯﾃｲ	←／→ボタンで
	②時計セット 2.ﾄｹｲ ｾｯﾄ	
	③発信元登録 3.ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾄｳﾛｸ	
	④キータッチ音量 4.ｷｰﾀｯﾁ ｵﾝﾘｮｳ	←／→ボタンで
	⑤スリープモード 5.ｽﾘｰﾌﾟ ﾓｰﾄﾞ	ダイヤルボタンで
②受信設定 2.ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ	①着信ベル回数 1.ﾁｬｸｼﾝ ﾍﾞﾙｶｲｽｳ	←／→ボタンで

19ページ手順④の操作	（網掛け）：お買い上げ時に設定されている項目です。	
設定項目	**設定内容**	**参照ページ**
ｼｭﾍﾞﾂ:PB ｼｭﾍﾞﾂ:10 PPS ｼｭﾍﾞﾂ:20 PPS ｼｭﾍﾞﾂ:ｼﾞﾄﾞｳ ｾｯﾃｲ を選びます。	電話回線に合わせて設定します。 PB　：プッシュ(PB)回線のとき。 10PPS　：ダイヤル回線の10PPSのとき。 20PPS　：ダイヤル回線の20PPSのとき。 ｼﾞﾄﾞｳ ｾｯﾃｲ　：自動で回線種別を設定したいとき。	セットアップ編 35
ダイヤルボタンで現在の日付（西暦）と時刻（24時間制）を入力します。 '99 05/15 15:25 年月日　時刻	現在の日付と時刻を登録します。 お買い上げ時は ’99 01/01 00:00 にセットされています。	セットアップ編 37～38
39～41ページを参照してください。	相手先のプリントにプリントされる発信元データを登録します。	セットアップ編 39～41
ｷｰﾀｯﾁ ｵﾝﾘｮｳ:OFF ｷｰﾀｯﾁ ｵﾝﾘｮｳ:ｼｮｳ ｷｰﾀｯﾁ ｵﾝﾘｮｳ:ﾀﾞｲ を選びます。	キータッチ音量を設定します。 OFF　：キータッチ音をなしにするとき。 ｼｮｳ　：キータッチ音を小さくするとき。 ﾀﾞｲ　：キータッチ音を大きくするとき。	セットアップ編 42
ｽﾘｰﾌﾟ ﾀｲﾑ:00ﾌﾝ ｽﾘｰﾌﾟ ﾀｲﾑ:05ﾌﾝ 時間を入力します。	ファクス待機中の消費電力を節約することができます。このスリープモードになるまでの時間を設定します。	セットアップ編 44
ﾍﾞﾙ ｶｲｽｳ:00 ～ ﾍﾞﾙ ｶｲｽｳ:10 を選びます。	「FAX専用モード」または「通常モード」のとき、自動受信したり、応答メッセージが流れるまでの着信ベル回数を設定します。お買い上げ時の設定は、4回です。	操作編 15

登録・設定をする（3）

19ページ手順②の操作	19ページ手順③の操作	
機能レベル1	機能レベル2	
②受信設定 2.ｼﾞｭｼﾝ ｾｯﾃｲ	②呼出ベル回数 2.ﾖﾋﾞﾀﾞｼ ﾍﾞﾙｶｲｽｳ	←／→ ボタンで
	③親切受信 3.ｼﾝｾﾂ ｼﾞｭｼﾝ	←／→ ボタンで
	④リモート番号 4.ﾘﾓｰﾄ ﾊﾞﾝｺﾞｳ	
	⑤自動縮小 5.ｼﾞﾄﾞｳ ｼｭｸｼｮｳ	←／→ ボタンで
	⑥印刷濃度 6.ｲﾝｻﾂ ﾉｳﾄﾞ	←／→ ボタンで
	⑦ポーリング受信 7.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞｼﾞｭｼﾝ	←／→ ボタンで
	⑧トナーセーブ 8.ﾄﾅｰ ｾｰﾌﾞ	←／→ ボタンで
	⑨ＰＣ接続 9.PC ｾﾂｿﾞｸ	←／→ ボタンで
③送信設定 3.ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ	①送付書 1.ｿｳﾌｼｮ	←／→ ボタンで

19ページ手順④の操作	：お買い上げ時に設定されている項目です。	
設定項目	設定内容	参照ページ
ﾍﾞﾙ ｶｲｽｳ:10 ﾍﾞﾙ ｶｲｽｳ:15 ﾍﾞﾙ ｶｲｽｳ:20 を選びます。	「通常モード」で着信ベル回数を0回〜10回のいずれかに設定しているとき、着信ベルが鳴り終わった後、電話の場合着信ベルとは違う鳴りかたでさらにベルが鳴ります。このときの呼出ベル回数を設定します。お買い上げ時の設定は10回です。10/15/20回から選択します。	操作編 17
ｼﾝｾﾂ ｼﾞｭｼﾝ:ON ｼﾝｾﾂ ｼﾞｭｼﾝ:OFF を選びます。	親切受信をするかしないかを設定します。 ON　：親切受信する。 OFF　：親切受信しない。	操作編 18〜19
取扱説明書〈操作編〉20〜22ページを参照してください。	外付電話機からファクシミリの受信動作をさせるときに設定します。	操作編 20〜22
ｼﾄﾞｳｼｭｸｼｮｳ:ON ｼﾄﾞｳｼｭｸｼｮｳ:OFF を選びます。	受信した原稿が分割されないように、縮小して印刷することができます。 ON　：縮小受信するとき。 OFF　：縮小受信しないとき。	操作編 23〜24
-■■■■■■■□□□□□□□□+ -■■■□□□□□□□□□□□□+	印刷の濃さを設定します。	セットアップ編 46
ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ:ﾋｮｳｼﾞｭﾝ ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ:ｷﾐﾂ ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ:ﾀｲﾏ を選びます。	ﾋｮｳｼﾞｭﾝ　：通常のポーリング受信を行うとき。 ｷﾐﾂ　：機密ポーリング受信を行うとき。 ﾀｲﾏ　：ポーリング受信する時刻を設定するときに選びます。	操作編 26〜29
ﾄﾅｰ ｾｰﾌﾞ:ON ﾄﾅｰ ｾｰﾌﾞ:OFF を選びます。	トナーを節約するかしないかを設定します。 ON　：節約する。 OFF　：節約しない。	セットアップ編 47
PC ｾﾂｿﾞｸ:ON PC ｾﾂｿﾞｸ:OFF を選びます。	本機とPCをつなげて使用する場合にはPC接続「ON」に設定してください。 ON　：PC接続中。 OFF　：PC接続なし。	—
ｺﾝｶｲﾉﾐ ｿｳﾌｼｮ:ON ｿｳﾌｼｮ:OFF ﾌﾟﾘﾝﾄ ｻﾝﾌﾟﾙ を選びます。	自動的に送付書を付加するかしないかを設定します。 ｺﾝｶｲﾉﾐON　：送信原稿に今回だけ送付書を付加するとき。 ｿｳﾌｼｮON　：常時付加するとき。 ｿｳﾌｼｮOFF　：常時付加しないとき。 ﾌﾟﾘﾝﾄｻﾝﾌﾟﾙ：書式を確認するとき。	操作編 48〜50

登録・設定をする（4）

19ページ手順②の操作	19ページ手順③の操作	
機能レベル1	機能レベル2	
③送信設定 3.ｿｳｼﾝ ｾｯﾃｲ	②送付書コメント 2.ｿｳﾌｼｮ ｺﾒﾝﾄ	
	③原稿濃度 3.ｹﾞﾝｺｳ ﾉｳﾄﾞ	←／→ ボタンで
	④画質モード 4.ｶﾞｼﾂﾓｰﾄﾞ	←／→ ボタンで
	⑤海外送信モード 5.ｶｲｶﾞｲｿｳｼﾝ ﾓｰﾄﾞ	←／→ ボタンで
	⑥電話予約 6.ﾃﾞﾝﾜ ﾖﾔｸ	←／→ ボタンで
	⑦タイマ送信 7.ﾀｲﾏ ｿｳｼﾝ	
	⑧ポーリング送信 8.ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞｿｳｼﾝ	←／→ ボタンで
	⑨リアルタイム送信 9.ﾘｱﾙﾀｲﾑ ｿｳｼﾝ	←／→ ボタンで

19ページ手順④の操作

（網かけ）：お買い上げ時に設定されている項目です。

設定項目	設定内容	参照ページ
取扱説明書〈操作編〉54～55ページを参照してください。	送付書のオリジナルコメントを作成します。 コメントは2種類登録することができます。	操作編 51 ～ 52
ｹﾞﾝｺｳ ﾉｳﾄﾞ:ﾌﾂｳ ｹﾞﾝｺｳ ﾉｳﾄﾞ:ｺｸ ｹﾞﾝｺｳ ﾉｳﾄﾞ:ｳｽｸ を選びます。	原稿の文字の濃さに合わせて一時的に設定します。 ﾌﾂｳ　：標準的な濃さのとき。 ｺｸ　：薄い文字のとき。 ｳｽｸ　：背景色の濃いとき。	操作編 53 ～ 54
ﾍﾟｰｼﾞ 01:ﾋｮｳｼﾞｭﾝ ﾍﾟｰｼﾞ 01:ﾌｧｲﾝ ﾍﾟｰｼﾞ 01:S.ﾌｧｲﾝ ﾍﾟｰｼﾞ 01:ｼｬｼﾝ を選びます。	原稿の文字の大きさに応じて設定します。 ﾋｮｳｼﾞｭﾝ　：普通の文字のとき。 ﾌｧｲﾝ　：小さい文字のとき。 S.ﾌｧｲﾝ　：新聞のような小さな文字のとき。 ｼｬｼﾝ　：写真の入っている原稿のとき。	操作編 46 ～ 47
ｶｲｶﾞｲｿｳｼﾝ:ON ｶｲｶﾞｲｿｳｼﾝ:OFF を選びます。	海外送信を行うときに設定します。 ON　：海外通信を行うとき。 OFF　：通常の通信のとき。	操作編 55 ～ 56
ﾃﾞﾝﾜ ﾖﾔｸ:ON ﾃﾞﾝﾜ ﾖﾔｸ:OFF ﾌﾟﾘﾝﾄｻﾝﾌﾟﾙ を選びます。	ON　：ファクス送信後に相手先と通話したいときに選びます。 OFF　：電話予約をしないときに選びます。 ﾌﾟﾘﾝﾄｻﾝﾌﾟﾙ：伝言メッセージを確認するとき。	操作編 57 ～ 59
ダイヤルボタンでタイマ送信時刻（24時間制）を入力します。 ｼﾃｲ ｼﾞｺｸ=19:45 送信時刻	タイマ送信を行うときの送信時刻を設定します。	操作編 60 ～ 62
ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ:ﾋｮｳｼﾞｭﾝ ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ:ｷﾐﾂ を選びます。	ﾋｮｳｼﾞｭﾝ　：通常のポーリング送信を行うときに選びます。 ｷﾐﾂ　：機密ポーリング送信を行うときに選びます。	操作編 67 ～ 70
ｺﾝｶｲﾉﾐ ﾘｱﾙﾀｲﾑｿｳｼﾝ:ON ﾘｱﾙﾀｲﾑｿｳｼﾝ:OFF を選びます。	すぐに相手先にダイヤルし、原稿を読み取りながら送信します。（リアルタイム送信） ｺﾝｶｲﾉﾐ　：送信原稿を今回だけリアルタイム送信するとき。 ON　：送信原稿を毎回リアルタイム送信するとき。 OFF　：この機能を使用しないとき。	操作編 43 ～ 44

登録・設定をする（5）

19ページ手順②の操作	19ページ手順③の操作	
機能レベル1	機能レベル2	
④通信待ち確認 4.ﾂｳｼﾝ ﾏﾁ ｶｸﾆﾝ		
⑤割り込み 5.ﾜﾘｺﾐ		
⑥ダイヤル登録 6.ﾀﾞｲﾔﾙ ﾄｳﾛｸ	①ワンタッチダイヤル 1.ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾞｲﾔﾙ	
	②短縮ダイヤル 2.ﾀﾝｼｭｸ ﾀﾞｲﾔﾙ	
	③グループダイヤル 3.ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲﾔﾙ	
⑦リストプリント 7.ﾘｽﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ		
⑧応用機能 8.ｵｳﾖｳ ｷﾉｳ	①転送 1.ﾃﾝｿｳ	←／→ ボタンで
	②メモリ受信 2.ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ	←／→ ボタンで

19ページ手順④の操作	：お買い上げ時に設定されている項目です。	
設 定 項 目	設 定 内 容	参照ページ
	タイマ送信、ポーリング送信の設定の解除をします。	操作編 73 ～ 74
	タイマ送信、ポーリング送信などの原稿待機中にそれらの設定を解除せずに原稿を送りたいときに使用します。	操作編 71 ～ 72
48～53ページを参照してください。	ワンタッチボタン[01]～[24]に電話番号や相手先の名前を登録します。	セットアップ編 48～53
54～58ページを参照してください。	短縮番号01～00に電話番号や相手先の名前を登録します。 （“00”は100のことです）	セットアップ編 54～58
59～63ページを参照してください。	ワンタッチボタン[01]～[24]にワンタッチダイヤルと短縮ダイヤルを組み合わせたグループダイヤルとして登録します。	セットアップ編 59～63
取扱説明書〈操作編〉102ページを参照してください。	各種のレポートやリストをプリントするときに設定します。	操作編 102 ～ 111
OFF ﾌｧｸｽ ﾃﾝｿｳ ﾃﾞﾝﾜ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ を選びます。	メッセージを受信したとき、電話呼び出しやファクス転送をするか、しないかを設定します。 OFF ：呼び出しも転送もしない。 **ファクステンソウ：** 受信してメモリに記憶したファクスメッセージをあらかじめ登録した別のファクシミリに送信します。 **デンワヨビダシ：** ファクスや音声メッセージを受信したとき、あらかじめ登録したポケットベル、携帯電話を呼び出します。	操作編 84 ～ 89
ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ:ON ﾒﾓﾘ ｼﾞｭｼﾝ:OFF を選びます。	受信したファクスをメモリに蓄積するかしないかを設定します。ファクス転送機能やリモコンアクセスを使用するときに、ONに設定します。 OFF ：メモリに蓄積しない。 ON ：メモリに蓄積する。	操作編 90 ～ 91

登録・設定をする（6）

19ページ手順②の操作	19ページ手順③の操作	
機能レベル1	機能レベル2	
⑧ 応用機能 8.オウヨウ キノウ	③リモコンアクセス設定 3.リモコン セッテイ	
	④ファクス出力 4.ファクス シュツリョク	

19ページ手順④の操作	：お買い上げ時に設定されている項目です。	
設 定 項 目	**設 定 内 容**	**参照ページ**
取扱説明書〈操作編〉98ページを参照してください。	他のファクシミリからファクスデータの取り出しを行うときなどに使用するリモコンアクセスコード（3桁）を設定します。（4桁目の＊は変更できません） お買上げ時は「159＊」に設定されています。	操作編 92 〜 98
	メモリ受信でメモリに蓄積されたファクスをプリントアウトおよび消去するときに使用します。	操作編 99

お使いの電話回線に合わせる［回線種別設定］

電話回線にはプッシュ(PBまたはトーン)回線とダイヤル(DPまたはパルス)回線があります。
現在ご利用中の電話回線の種類に合わせて設定します。

■自動で回線種別の設定をする

電話回線にはプッシュ(PBまたはトーン)回線とダイヤル(DPまたはパルス)回線があります。現在ご利用中の電話回線の種類に合わせて自動的に設定します。

1 受話器が受話器受けに置かれているのを確認し、電源コードを電源コンセントに差し込んでください。

オマチクダサイ

2 「ピピピ」という警告音が鳴り、ディスプレイに回線種別設定を行うか行わないかの問い合わせが表示されます。

カイセン セッテイ シマスカ?
1.ハイ 2.イイエ

●何もせず５分間放置すると、回線種別の設定はされません。

3 ダイヤルボタン1を押します。

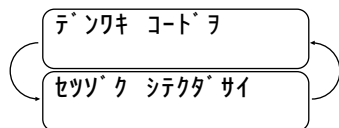
カイセン チェック チュウ

本機が自動的に回線のチェックを行い、回線種別を自動設定します。
回線チェックが終了すると、「ピッ」という終了音が鳴りディスプレイに自動設定された回線種別が約2秒間表示された後、設定が終了します。
【例】プッシュ回線に設定されたとき

PB カイセンデス

■電話機コードが正しく接続されていないときは････

回線チェック中に「ピピピ」という警告音が鳴りディスプレイに下記のように表示されます。そのまま5分経過しますと回線の自動チェックをせずに終了しますので、電話機コードを正しく接続してください。

ﾃﾞﾝﾜｷ ｺｰﾄﾞｦ
ｾﾂｿﾞｸ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ

電話機コードが正しく接続されたときは、自動的に回線チェックに戻り、自動設定を行います。

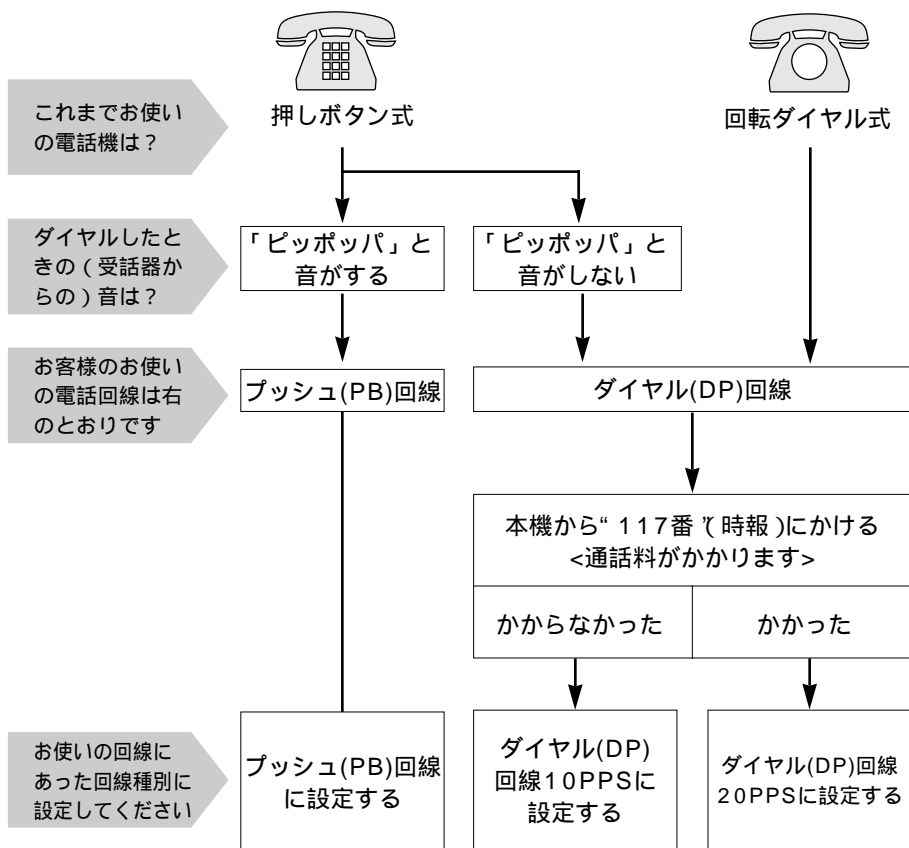
■「ピピピ」という警告音が鳴り ｾｯﾃｲ ﾃﾞｷﾏｾﾝﾃﾞｼﾀ が表示されたときは････

電話回線に何らかの問題があり自動で回線種別が設定できなかったときです。35ページの手順で手動で設定してください。

メ モ

- 手順2で「2.ｲｲｴ」を選んだとき、電話機コードを接続していなかったとき、または5分間放置したときは、電源コードを差し込み直せばもう一度手順1～3を繰り返すことができます。
- すでにこの方法で回線種別の設定を確定した後は、電源コードを差し込み直しても、自動的な設定はされません。引越しなどの理由で設定し直したいときは、35ページの「手動で回線種別を設定する」を参照して設定してください。
- 回線種別の自動設定は、35ページの手順3で ｼｭﾍﾞﾂ:ｼﾞﾄﾞｳｾｯﾃｲ を選んだときも作動します。
- 回線種別の自動設定を何度試みても ｾｯﾃｲ ﾃﾞｷﾏｾﾝﾃﾞｼﾀ と表示されるときは、35ページの手順で、手動で回線種別を設定してください。

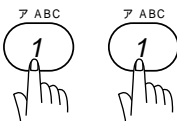
■ご利用中の電話回線の調べかた

回線の種類は、次の手順で調べることができます。もし、わからないときは、最寄りのNTTの支店・営業所またはNTT窓口(☎116：無料)にお問い合わせください。

■手動で回線種別の設定をする

何らかの原因で32ページの〈自動で回線種別を設定する〉ができなかったときや、引越しなどで電話がかからなくなったときは、下記の手順でご利用中の電話回線に合わせて設定します。
回線種別がわからないときは、34ページの〈ご利用中の電話回線の調べかた〉を参照して、回線の種類を調べてください。

1 機能ボタンを押します。

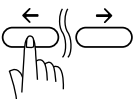
1.ショキ トウロク

2 ダイヤルボタン1、1を押します。

1.カイセンシュベツ セッテイ

シュベツ:20PPS

ヤジルシボタンデ センタク

3 ←／→ボタンを押して、ご利用の回線の種別に合わせます。

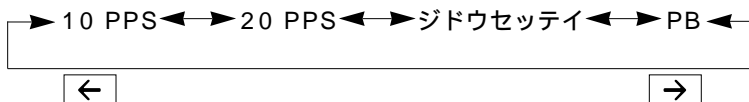
【例】プッシュ回線に設定するとき

シュベツ:PB

- プッシュ回線のとき…………………PB
- ダイヤル回線の10PPSのとき……10PPS
- ダイヤル回線の20PPSのとき……20PPS
- 自動設定を行うとき………ジドウセッテイ

4 セットボタンを押します。

- 手順3で「ジドウセッテイ」を選んだときは、32ページの回線種別の自動設定を行います。

5 停 止 ボタンを押します。設定が終了します。

メ モ ●回線の種類を選ぶときのディスプレイ表示は ← ／ → ボタンで下記のように変わります。

●構内交換機など一般と異なる回線につないでいるときは、自動設定できないときがあります。
●通話中は自動設定できません。

お願い 設定を間違えると、電話がかからなかったり、間違った相手にかかることや、ファクスが送信できないことがありますのでご注意ください。

日付と時刻を合わせる［時計セット］

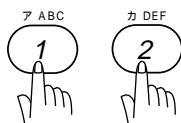
現在の日付と時刻を合わせます。この日付と時刻はディスプレイに表示されるとともに、ファクスを送信したとき、相手側の記録紙にあなたのファクス番号とあなたの名前(発信元登録：39ページ参照)が一緒にプリントされます。

1

機 能 ボタンを押します。

1.ｼｮｷ ﾄｳﾛｸ

2

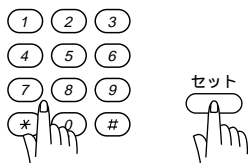
ダイヤルボタン 1 、 2 を押します。

2.ﾄｹｲ ｾｯﾄ

ﾈﾝ:XX

●年の入力を促す表示になります。

3

年月日、時刻をダイヤルボタンと セット ボタンで入力します。

【例】1999年1月15日　午後3時25分に合わせるとき

●西暦の下2桁をダイヤルボタンで入力し セット ボタンを押します。

ﾈﾝ:99

●月の入力を促す表示になります。

ﾂｷ:XX

●月は2桁の数字をダイヤルボタンで入力し セット ボタンを押します。

ﾂｷ:01

●日の入力を促す表示になります。

ﾋﾂﾞｹ:XX

メ モ ●西暦2000年にお買い上げの場合、もしくは、2000年に再設定される場合は、ネンには00を入力してください。

●日は2桁の数字をダイヤルボタンで入力し セットボタンを押します。

ﾋﾂﾞｹ:15

●時刻を入力を促す表示になります。

ｼﾞｺｸ:XX:XX

●時刻は(24時間制)でをダイヤルボタンで入力し セットボタンを押します。

ｼﾞｺｸ:15:25

●年月日、時刻は入力されました。

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

4 停止ボタンを押します。

現在の日付と時刻がディスプレイに表示され、登録が終了します。

メ モ ●ディスプレイは下記のように年と日付と時刻を表示します。

'99 05/15 15:25

1999年5月15日　午後3時25分

●数字を入れ間違えたときは、クリアボタンを押して最初から入力し直すか、または ←／→ボタンを押して、間違えた箇所までカーソルを移動し、入力し直します。

お願い

●お買い上げ時は「1999年1月1日　00:00」になっており、電源コンセントを入れると電源を入れた時刻から時計が進みます。現在の日付、時刻に合わせてください。また、長期間電源を切ったままにして、時刻が合っていないときは、もう一度現在の日付と時刻に合わせてください。

●時刻はあくまで目安ですので、気になるときは1ヶ月おきに合わせてください。

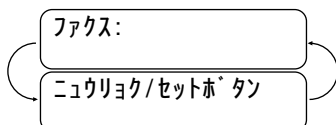
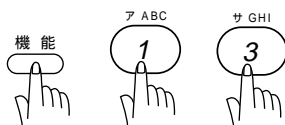
名前と電話番号を登録する［発信元登録］

ファクスを送信したとき、あなたの名前と電話番号が相手側の記録紙にプリントされます。

1

［機能］ボタンを押し、ダイヤルボタン［1］、［3］を押します。

ファクス:

ニュウリョク/セットボ゛タン

●ファクス番号の入力を促す表示になります。

2

ダイヤルボタンでファクス番号を入力します。

【例】(052)811-5△△1のとき

ファクス:0528115△△1_

●最大20桁まで入力できます。

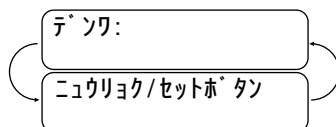
●ハイフンやカッコ、＊の入力はできません。

●スペースを入力する場合は、［→］ボタンを使います。

3

［セット］ボタンを押します。

デ゛ンワ:

ニュウリョク/セットボ゛タン

●電話番号の入力を促す表示になります。

4

ダイヤルボタンで電話番号を入力します。

【例】(052)824-△△55のとき

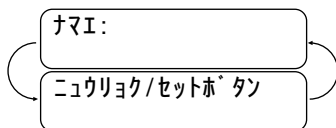
デ゛ンワ:052824△△55

●最大20桁まで入力できます。

●ファクス番号と電話番号とが同じ場合には、再度同じ番号を入力します。

5 セットボタンを押します。

ﾅﾏｴ:

ﾆｭｳﾘｮｸ/ｾｯﾄﾎﾞﾀﾝ

●名前の入力を促す表示になります。

6 ダイヤルボタンで名前を入力します。

【例】スズキ　ケイコという名前のとき
（文字入力のしかたは取扱説明書<セットアップ編>
16〜18ページを参照してください）

ﾅﾏｴ:ｽｽﾞｷ ｹｲｺ

最大20文字まで入力できます。

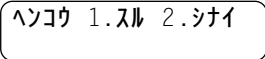
7 セットボタンを押します。

ｳｹﾂｹﾏｼﾀ

8 停止ボタンを押します。

登録が終了します。

メ　モ

- ●ファクス番号・電話番号は20桁まで登録できます。ファクス番号・電話番号には数字しか入力できません。
- ●名前は20文字まで登録できます。
- ●文字入力のしかたは16〜18ページを参照してください。
- ●入力した名前や番号を消すときは、手順2、4、6でそれぞれカーソルを番号や名前の一番はじめまで←／→を使って移動させ、クリアボタンを押すと、あらかじめ入力してあった名前や番号を消すことができます。
- ●数字を入れ間違えたときは、←／→ボタンを押して修正する文字までカーソルを移動し、正しい文字を上から入力し直します(上書き)。挿入はできませんので、途中の数字を入力し忘れたときは、間違えた箇所までカーソルを移動し、それ以降の数字も入力し直してください。
- ●発信元データ(ファクス番号、電話番号、名前)をすべて登録しないと、送付書(取扱説明書<操作編>51ページ参照)、伝言メッセージ(取扱説明書<操作編>59ページ参照)を送信することはできません。

発信元登録の消去のしかた

1 機能ボタンを押し、ダイヤルボタン1、3を押します。

ﾍﾝｺｳ 1.ｽﾙ 2.ｼﾅｲ

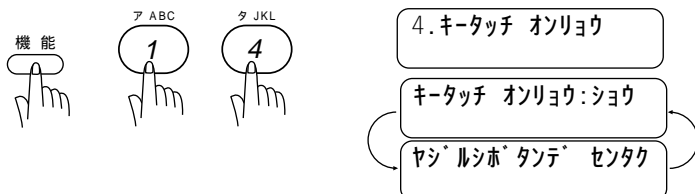
2 ダイヤルボタン1を押して、ヘンコウ「1.スル」を選びます。

3 クリアボタンを押して、登録内容を消去します。

4 セットボタンを押します。

ブザー音量を変える［キータッチ＆ブザー音量］

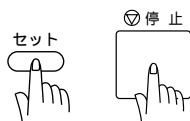
ダイヤルボタンなどを押したとき「ピッ」と音が鳴ります。また、間違った操作をしたときや、紙づまりなどファクシミリに異常が起きたとき、またファクス送受信終了時にピーと鳴ります。そのときの音量を調整します。

1 機能ボタンを押し、ダイヤルボタン1、4を押します。

2 ←／→ボタンで音量を選びます。

【例】「ダイ」に設定するとき

ｷｰﾀｯﾁ ｵﾝﾘｮｳ:ﾀﾞｲ

3 セットボタンを押し、次に停止ボタンを押します。

設定が終了します。

メ モ
●キータッチ音量は、3種類の内から選びます。
OFF・・・・・・キータッチ音なし
（エラーのときは「OFF」にしても鳴ります）
ショウ・・・・キータッチ音小さい
ダイ・・・・・・キータッチ音大きい
お買い上げ時は、「ショウ」になっています。

ベル音量、スピーカー音量、受話音量を調整する

ベル音量、スピーカー音量、受話音量は▲／▼ボタンを押して調整します。（▲：音量大　▼：音量小）

音　量	調整するとき	調整段階
ベル音量	原稿がセットされていなくて電話をかけていないとき	OFF／4段階
スピーカー音量	オンフック ボタンを押し、スピーカーから「ツー」音が聞こえているときまたはオンフック状態で相手の声が聞こえるとき	OFF／4段階
受話音量	受話器で相手と話しているとき	2段階

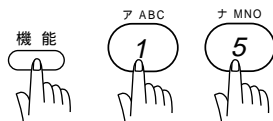
メ　モ　ベル音量を鳴らないよう（OFF）に設定しても、電話呼出ベル、電話予約のベルは最小で鳴ります。
（電話呼出ベル→取扱説明書〈操作編〉16ページ、電話予約→取扱説明書〈操作編〉57ページ参照）

電気代を節約する［スリープモード］

本機は、すぐにプリントやコピーができるように、常に一定の電気を供給し、印字部を温め、冷却ファンも回し続けています。
スリープモードは、設定した時間内にプリントやコピーが行われなかったときに、自動的に印字部の温度を下げ、冷却ファンも止まるので、消費電力を減らします。ただし、電話機としての通話には影響ありません。
スリープモードになるまでの時間はは0～99分まで分単位で設定できます。

1

機 能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 1 、 5 を押します。

ｽﾘｰﾌﾟ ﾀｲﾑ:00 ﾌﾝ

2

ダイヤルボタンで時間を設定します。00～99まで分単位で2桁の番号を入力します。
【例】5分間に設定するとき

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 #

ｽﾘｰﾌﾟﾀｲﾑ:05 ﾌﾝ

3

セット ボタンを押します。

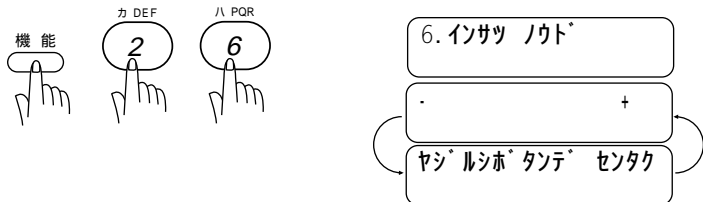
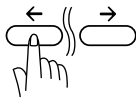
4 停 止 ボタンを押します。

メ モ

●冷却ファンは本機内部の温度が一定以下になるまで回り続けますので、スリープモードになるまでの実際の時間と設定時間に若干の差があることがあります。
●スリープモードのときに、コピーやプリントをしようとするとディスプレイに「ウォーミング アップ」と表示され、ウォーミングアップのために12秒〜30秒時間がかかります。

印刷の濃さを調整する

印刷の濃さを5段階で設定します。

1 機 能ボタンを押して、ダイヤルボタン2、6を押します。

2 ←／→ボタンを押して、印刷の濃さを設定します。薄くしたいときは、←ボタンを押してください。濃くしたいときには→を押してください。

3 セットボタンを押します。

4 停 止ボタンを押します。

トナーを節約する［トナーセーブ］

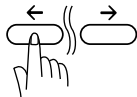
ファクスやコピー時に、印字濃度を少し薄めにしてトナー使用量を少なくし、トナーの寿命を延ばすことができます。このトナーセーブモードにするかしないかを設定します。

1

［機 能］ボタンを押し、ダイヤルボタン［2］、［8］を押します。

2

［←］／［→］ボタンを押して、「ON」または「OFF」を選びます。

【例】「ON」に設定するとき

ﾄﾅｰ ｾｰﾌﾞ:ON

3

［セット］ボタンを押します。

4

［停 止］ボタンを押します。

ワンタッチダイヤルを登録する［ワンタッチダイヤル］

２０桁までの電話番号と１５文字までの相手先名称を、ワンタッチダイヤルの［０１］～［２４］の２４箇所に登録することができます。

お願い

電話番号を間違って登録しますと、自動再ダイヤル機能により、間違った相手を何度も呼び出すことになり、大変ご迷惑をおかけすることになりますのでご注意ください。新しく電話番号を登録した後、ダイヤルリスト(取扱説明書<操作編>１０６ページ参照)をプリントして確認してください。

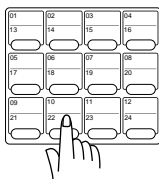
■登録のしかた

1 ［機 能］ボタンを押し、ダイヤルボタン［６］、［１］を押します。

1.ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾞｲﾔﾙ

ﾜﾝﾀｯﾁﾎﾞﾀﾝ ｼﾃｲ

2 登録するワンタッチボタンを押します。

【例】ワンタッチボタン［01］を押したとき（ディスプレイの表示は＃０１となります）

#01:

●すでに登録されているときは、名前または電話番号が表示されます。

●ワンタッチボタン［13］～［24］を指定したいときは、［シフト］ボタンを押したままワンタッチボタンを押します。

3 ダイヤルボタンで電話番号を入力します。

#01:0528115ΔΔ1_

●電話番号は20桁まで入力できます。

●スペースを入力するには［→］ボタンを、ハイフンを入力するには［再ダイヤル／ポーズ］ボタンを押します。

●カッコは登録できません。

4

セット ボタンを押します。

ﾅﾏｴ:

●相手先の名前入力を促す表示となります。

5

相手先の名前を入力します。

ﾅﾏｴ:ﾀﾅｶﾖｳｺ

●文字入力のしかたは16～18ページを参照してください。
●最大15文字まで入力できます。

6

セット ボタンを押します。

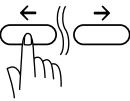
ｼｭﾍﾞﾂ:ﾌｧｸｽ

ﾔｼﾞﾙｼﾎﾞﾀﾝﾃﾞ ｾﾝﾀｸ

●番号の種別の選択を促す表示になります。

7

← ／ → ボタンを押して、番号の種別を選びます。

【例】ファクスに設定するとき

ｼｭﾍﾞﾂ:ﾌｧｸｽ

8

セット ボタンを押します。

ﾜﾝﾀｯﾁﾎﾞﾀﾝ ｼﾃｲ

続けて登録するときは手順2からを繰り返します。

9 停 止 ボタンを押します。

登録が終了します。

メ モ **●番号の種別**

ワンタッチダイヤルに電話番号を登録するとき、その番号がどういった種類の番号か登録することができます。登録された内容は電話帳リスト(取扱説明書<操作編>１０８ページを参照)にプリントされ、種別が一目でわかって便利です。下記の3種類から選択できます。

1.ファクス　　2.デンワ　　3.ファクス／デンワ

●ここで登録した内容は送付書に記述されますので、他人に知らせたくない場合は送付書を付けずに送信してください。
●文字の入力のしかたは、１６〜１８ページを参照してください。
●数字を入れ間違えたときは、←／→ボタンを押して修正する文字までカーソルを移動し、正しい数字を上から入力します(上書き)。挿入はできませんので、途中の数字を入力し忘れたときは間違えた箇所までカーソルを移動し、それ以降の数字も入力し直してください。

メ モ **ワンタッチダイヤルにファクス情報サービスの情報番号を登録するとき**

●ダイヤル回線をお使いの場合は必ず最初に＊（トーン）ボタンを押してください。

■変更のしかた

1 機 能 ボタンを押し、ダイヤルボタン 6 、 1 を押します。

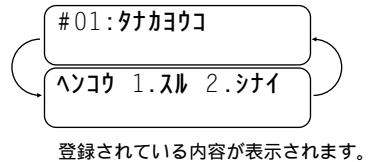
```
1.ワンタッチ ダイヤル
```

2 変更するワンタッチボタンを押します。

【例】ワンタッチボタン[01]を変更するとき

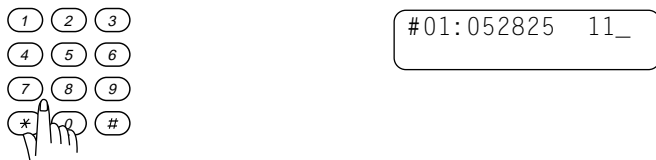
●登録されている内容が表示されます。

3 ダイヤルボタン 1 を押して、「1.スル」を選びます。

```
#01:0528115△△1
```

●登録されている電話番号が表示されます。消去するときは クリア ボタンを押します。

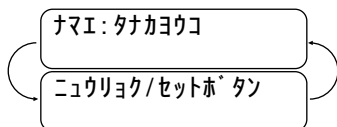
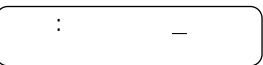
●電話番号を変更しないときは、そのまま手順5に進みます。

4 ダイヤルボタンで電話番号を変更します。

【例】(052)825-△△11に変更するとき

```
#01:052825△△11_
```

5 セットボタンを押します。

ﾅﾏｴ:ﾀﾅｶﾖｳｺ

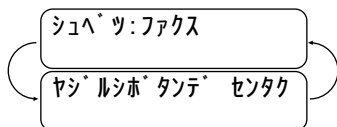
ﾆｭｳﾘｮｸ/ｾｯﾄﾎﾞﾀﾝ

●登録されている名前が表示されます。消去するときはクリアボタンを押します。

●名前を変更しないときは、そのまま手順7に進みます。

6 相手先の名前を変更します。

【例】スズキケイコに変更するとき

ﾅﾏｴ:ｽｽﾞｷ ｹｲｺ

7 セットボタンを押します。

ｼｭﾍﾞﾂ:ﾌｧｸｽ

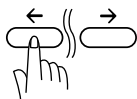
ﾔｼﾞﾙｼﾎﾞﾀﾝﾃﾞ ｾﾝﾀｸ

●登録されている番号の種別が表示されます。

●番号種別を変更しないときは、そのまま手順9に進みます。

8 ←／→ボタンで番号の種別を変更します。

【例】「デンワ」に変更するとき

ｼｭﾍﾞﾂ:ﾃﾞﾝﾜ

9 セットボタンを押します。

続けて変更するときは、手順2からを繰り返します。

ﾜﾝﾀｯﾁﾎﾞﾀﾝ ｼﾃｲ

10 停 止ボタンを押します。

変更が終了します。

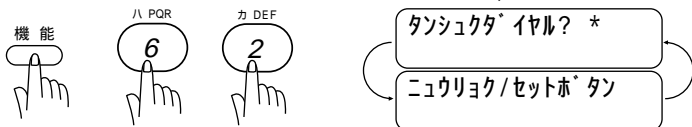
短縮ダイヤルを登録する［短縮ダイヤル］

短縮ダイヤル登録してある電話番号は簡単な操作でダイヤルできます。２０桁までの電話番号と１５文字までの相手先名称を、ワンタッチダイヤルとは別に2桁の短縮番号００〜９９の１００箇所に登録することができます。

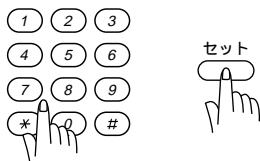
お願い　電話番号を間違って登録しますと、自動再ダイヤル機能により、間違った相手を何度も呼び出すことになり、大変ご迷惑をおかけすることになりますのでご注意ください。新しく電話番号を登録した後、ダイヤルリスト（取扱説明書〈操作編〉１０６ページ参照）をプリントして確認してください。

■登録のしかた

1　［機 能］ボタンを押し、ダイヤルボタン［6］、［2］を押します。

タンシュクダ゛イヤル？ ＊
ニュウリョク/セットボ゛タン

2　登録する短縮番号をダイヤルボタンで入力し［セット］ボタンを押します。

【例】短縮ダイヤル01に登録するとき（ダイヤルボタン［0］と［1］を押します）
（ディスプレイの表示は＃01となります）

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 #

＊01:

●すでに登録されているときは、電話番号が表示されます。

3　ダイヤルボタンで電話番号を入力します。

【例】(052)811-5△△1のとき

1 2 3
4 5 6
7 8 9
＊ 0 #

＊01:0528115△△1_

●電話番号は20桁まで入力できます。
●カッコは登録できません。
●スペースを入力するには［→］ボタン、ハイフンを入力するには［再ダイヤル／ポーズ］ボタンを押します。

4　［セット］ボタンを押します。

ナマエ:
ニュウリョク/セットボ゛タン

●相手先の名前入力を促す表示となります。

5 ダイヤルボタンで相手先の名前を入力します。

【例】タナカヨウコと入力したとき

ﾅﾏｴ:ﾀﾅｶﾖｳｺ

●文字入力のしかたは16〜18ページを参照してください。
●最大15文字まで入力できます。

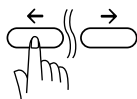
6 セットボタンを押します。

ｼｭﾍﾞﾂ:ﾌｧｸｽ

ﾔｼﾞﾙｼﾎﾞﾀﾝﾃﾞ　ｾﾝﾀｸ

●番号種別の選択を促す表示になります。

7 ←／→ボタンを押して、番号の種別を選びます。

【例】ファクスに設定するとき

ｼｭﾍﾞﾂ:ﾌｧｸｽ

8 セットボタンを押します。

ﾀﾝｼｭｸﾀﾞｲﾔﾙ?　＊

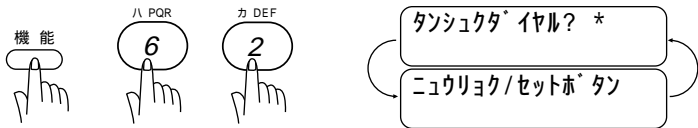
ﾆｭｳﾘｮｸ/ｾｯﾄﾎﾞﾀﾝ

●続けて登録するときは手順2からを繰り返します。

9 停止ボタンを押します。

登録が終了します。

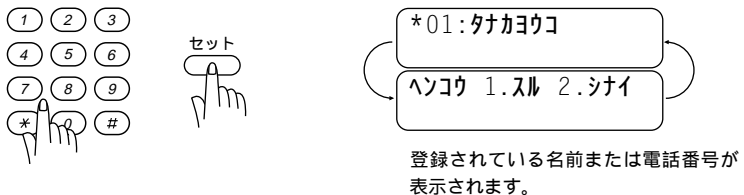
■変更のしかた

1 機能ボタンを押し、ダイヤルボタン6、2を押します。

2 変更する短縮番号をダイヤルボタンで入力しセットボタンを押します。

【例】短縮ダイヤル01を変更するとき（ダイヤルボタン0と1を押します）

●登録されている名前または電話番号が表示されます。

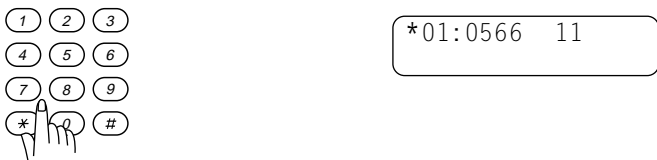
3 ダイヤルボタン1を押して、「1.スル」を選びます。

＊01:0528115△△1

●登録されている電話番号が表示されます。消去するときはカーソルを名前や番号の最初の文字または数字まで移動させクリアボタンを押します。

●電話番号を変更しないときは、そのまま手順5に進みます。

4 ダイヤルボタンで電話番号を変更します。

【例】(0566)△△1119に変更するとき

＊01:0566△△11

5 セット ボタンを押します。

ナマエ:タナカヨウコ

●登録されている名前が表示されます。消去するときは クリア ボタンを押します。
●名前を変更しないときは、そのまま手順7に進みます。

6 相手先の名前を変更します。

【例】スズキマサオに変更するとき

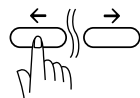
ナマエ:スズ゛キ マサオ

7 セット ボタンを押します。

シュベ゛ツ:ファクス
ヤシ゛ルシボ゛タンデ゛ センタク

●登録されている番号の種別が表示されます。
●番号種別を変更しないときは、そのまま手順9に進みます。

8 ← ／ → ボタンで番号の種別を変更します。

【例】「デンワ」に変更するとき

シュベ゛ツ:デ゛ンワ

9 セット ボタンを押します。

続けて他の短縮ダイヤルを変更するときは、手順2からを繰り返します。

タンシュクダ゛イヤル? *
ニュウリョク/セットボ゛タン

10 停 止ボタンを押します。

変更が終了します。

グループダイヤルを登録する［グループダイヤル］

ワンタッチダイヤルと短縮ダイヤルに登録した相手先は、複数の番号を1グループとしてワンタッチボタン［01］～［24］に登録できます。グループダイヤルとして登録し、順次同報送信や順次ポーリング受信をするときに使うと便利です。
1つのグループダイヤルには、最大123箇所まで登録でき、15文字までの名前が登録できます。グループダイヤルは6グループまで作ることができます。グループダイヤルを使用すると、複数の送信先を一度に指定することができます。

■登録のしかた

1 ［機能］ボタンを押し、ダイヤルボタン［6］、［3］を押します。

3.ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲﾔﾙ

ﾜﾝﾀｯﾁﾎﾞﾀﾝ ｼﾃｲ

●ワンタッチボタンの指定を促す表示になります。

2 登録するワンタッチボタンを押します。
【例】ワンタッチボタン01に登録するとき

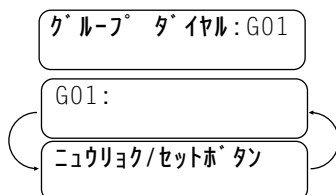
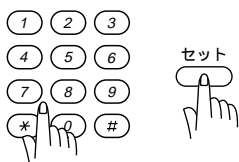
ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲﾔﾙ:G0

3 ダイヤルボタンでグループ番号を入力し、セット ボタンを押します。グループは01から06の6つまで登録できます。

【例】グループ01に設定するとき(ダイヤルボタン 1 を押します)

グループ゚ ダイヤル:G01

G01:

ニュウリョク/セットボタン

●登録する番号の入力を促す入力画面になります。

●すでに登録しているグループ番号を入力したときは ヤリナオシテクダサイ と表示されます。未登録のグループ番号を選んでください。

4 登録するワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルを選びます。

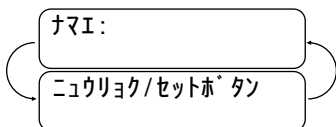
【例】ワンタッチダイヤル[02](#02)、短縮ダイヤル05(＊05)と06(＊06)を登録するとき

G01:#02*05*06

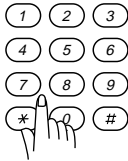
ワンタッチダイヤルは、登録するワンタッチボタンを、短縮ダイヤルは、キャッチ/短縮 ボタンを押した後に2桁の番号を入力します。

5 セット ボタンを押します。

ナマエ:

ニュウリョク/セットボタン

●グループ名の入力を促す表示となります。

6 ダイヤルボタンでグループ名を入力します。

【例】「テニスナカマ」というグループ名のとき

ナマエ:テニスナカマ

●グループ名は15文字まで登録できます。

●文字入力のしかたは取扱説明書16～18ページを参照してください。

7 セットボタンを押します。

8 停止ボタンを押します。

登録が終了します。

メ モ

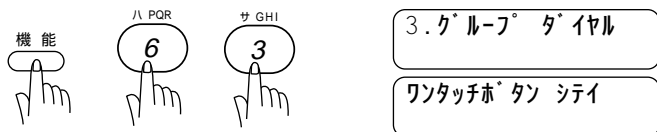
●すでにグループダイヤルが登録されているワンタッチボタンに登録するときは、62ページの＜変更のしかた＞を参照してください。

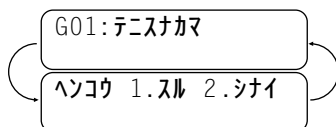
●グループダイヤルとして使用されているワンタッチボタンをさらに別のグループダイヤルの中に登録することはできません。

●ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルが登録されていないときは、グループダイヤルの登録はできません。

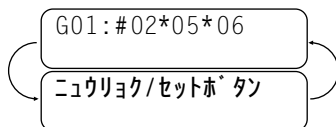
■変更のしかた

1 機能ボタンを押し、ダイヤルボタン6、3を押します。

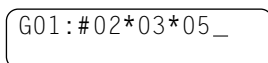
```
3.ク゛ルーフ゜ タ゛イヤル
ワンタッチホ゛タン シテイ
```

2 変更するグループダイヤルが登録されているワンタッチボタンを押します。

```
G01:テニスナカマ
ヘンコウ 1.スル 2.シナイ
```

●すでに登録されている内容が交互表示されます。
●変更をしないときは、ダイヤルボタン2を押して「2.シナイ」を選びます。

3 ダイヤルボタン1を押して、「1.スル」を選びます。

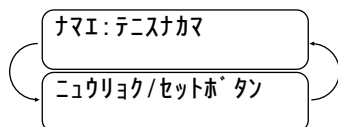
```
G01:#02*05*06
ニュウリョク/セットホ゛タン
```

●登録されている番号が表示されます。
●変更しないときは、そのまま手順5に進みます。

4 ワンタッチボタン・短縮ボタン、ダイヤルボタンで変更します。

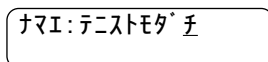
```
G01:#02*03*05_
```

●変更しないときは、そのまま手順5に進みます。

5 セットボタンを押します。

ナマエ:テニスナカマ

ニュウリョク/セットボ゛タン

●登録されているグループ名が表示されます。
●グループ名の変更をしないときは、そのまま手順7に進みます。

6 ダイヤルボタンでグループ名を変更します。

ナマエ:テニストモダ゛チ

●文字入力のしかたは取扱説明書16～18ページを参照してください。

7 セットボタンを押します。

8 停止ボタンを押します。

登録が終了します。

メ モ ●1つのワンタッチボタンには、ワンタッチダイヤル(48ページ参照)かグループダイヤルのどちらか一方しか登録できません。

プリンタードライバのインストール

対応パソコンはDOS/V機です。PC98シリーズには対応していません。OSによりセットアップ方法が異なりますので、お使いのOSの項目をお読みください。

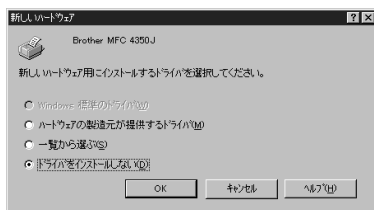
■Windows®95/98の場合

プリンタードライバをインストールし、本機をWindows®95/98上から操作できるようにします。

1 本機とコンピュータがきちんと接続されていることを確認します。

2 本機の電源を入れます。

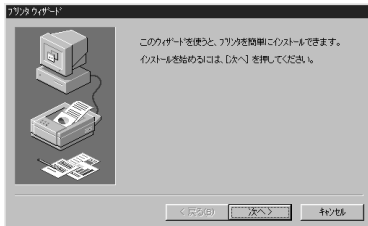
3 コンピュータの電源を入れ、Windows®95/98を起動します。「新しいハードウェア」画面が表示されます。上から4番目の「ドライバをインストールしない」を選び、<OK>ボタンをクリックします。

メモ Windows®98の場合は、任意のドライバを選んで次へ進み「プリンタの追加ウィザード」画面で〈キャンセル〉ボタンをクリックしてください。

Windows®95のバージョンによっては、上の画面の代わりに「デバイスドライバウィザード」画面が表示されます。
＜次へ＞をクリックします。

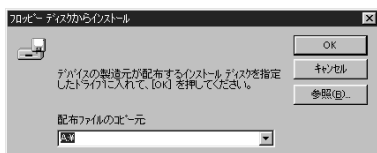
「このデバイス用のドライバが見つかりませんでした」の説明の画面が出ます。
ここで<完了>をクリックしてください。

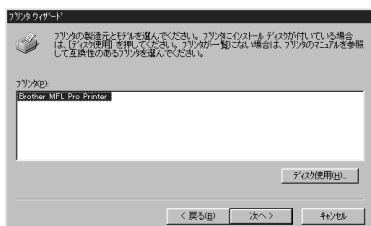
「新しいハードウェア」または「デバイスドライバウィザード」の画面が表示されない場合は、そのままインストールを進めてください。

4 <スタート>ボタンをクリックし、スタートメニューから〔設定の中の［プリンタ]〕を選択します。

5 「プリンタの追加」をダブルクリックします。画面が表示されます。

6 〈次へ〉ボタンをクリックした後、「ローカルプリンタ」を選択し〈次へ〉ボタンをクリックします。

7

〈ディスク使用〉ボタンをクリックします。
「フロッピーディスクからインストール」画面が表示されます。

8

「MFC 4350Jプリンタードライバフロッピーディスク」をAドライブに入れ〈OK〉ボタンをクリックします。

9

〈次へ〉ボタンをクリックします。使用するポート（LPT1を推奨）を選択し、〈次へ〉ボタンをクリックします。

10

インストール画面が表示されますので、画面表示に従ってインストールを完了します。

■Windows NT®の場合

プリンタードライバをインストールし、本機をWindows NT® 4.0上から操作できるようにします。

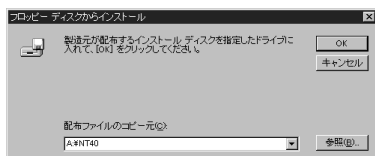
1 本機とコンピュータがきちんと接続されていることを確認します。

2 本機の電源を入れます。

3 コンピュータの電源を入れます。<スタート>ボタンをクリックし、スタートメニューから［設定］の中の［プリンタ］を選択します。「プリンタの追加」をダブルクリックすると「プリンタの追加ウィザード」画面が表示されます。

4 「このコンピュータ」を選択し、〈次へ〉ボタンをクリックします。
使用するポート（LPT1を推奨）を選択し、〈次へ〉ボタンをクリックします。

5

〈ディスク使用〉ボタンをクリックします。
「フロッピーディスクからのインストール」画面が表示されます。

6

Aドライブへ「MFC 4350Jプリンタードライバフロッピーディスク」を入れ、「配布ファイルのコピー元」に「A:\NT40」を入力した後、〈OK〉ボタンをクリックします。

7

インストール画面が表示されますので、画面表示に従ってインストールを完了します。

テストプリントをする

本機のプリント機能が正常かどうかを確認するためにテストサンプルページをプリントします。

1 ディスプレイにオフラインと表示されているか確認します。表示されていないときは、オン/オフライン ボタンを押します。

```
'99 05/15 15:25
オフライン
```

2 テスト/リセット ボタンを押します。

テストサンプルページのプリントを開始します。

```
'99 05/15 15:25
テスト プリント
```

索引

アフターサービスのご案内

　この度は本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご愛用いただきます製品が、安心してご使用いただけますよう下記窓口を設置しております。
ご不明な点、もしくはお問い合わせなどございましたら下記までご連絡ください。その際、ディスプレイにどのような表示が出ているかなどおたずねいたしますので、あらかじめご確認いただけますと助かります。

【お客様総合お問い合わせ窓口】

フリーダイヤル　ＴＥＬ：0120ー143410

【消耗部品のお問い合わせ窓口】

ブラザー販売（株）情報機器事業部　ダイレクトClub

〒467-8577　名古屋市瑞穂区苗代町15ー1
ＴＥＬ：(052) 824ー3410
ＦＡＸ：(052) 825ー0311

・消耗品については、お買い上げの販売店にてお買い求めください。
・万一、販売店よりお買い求めできない場合は、弊社ダイレクトClubにて対応させていただきます。
・なお、ご注文の際は、取扱説明書（操作編）の「FAX消耗品等のご注文について」の注文書にてＦＡＸでご注文願います。

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。現地での各国の通信規格に反する場合や、現地で使用されている電源が本製品に適切でないおそれがあります。
海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your fax machine may not be compatible with the power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。

UU7561001
Printed in Japan